



北部の民生委員さんが、清風園のお年寄りを「観梅会」に招待（2月21日、白木谷で）

広報

3/1

3月の行事

- 6日・民族歌舞団『わらび座』公演（市民体育館、7時～）
- 9日・南国市春季バトミントン大会（市民体育館、9時～3時）
- 12日・ママさんバレー教室（市民体育館、6時30分～9時30分）
- 13日・中央高齢者教室『世の中の動き』（社会福祉センター、10時～12時、1時～閉校式）
- 19日・日本画教室（市役所第2会議室、1時～3時）
- 21日・人権行政相談（社会福祉センター、10時～3時）
- 23日・第6回南国市はし拳大会（市民体育館、1時～）……申込み（3月1日～10日まで）、おたずねは市役所内市観光協会まで。
- 24日・俳句教室『吟行』（岡豊山にて、11時～）

——とじておくと便利です——

なんこく

1980 No.307

市民憲章

わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。

☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。

☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。

☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。

☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。

☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。

☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。



武市安哉のこと

一月二十四日、北海道の浦臼小学校と大森小学校とが姉妹校の縁むすびをしましたが、今回は、その「原因」となった「武市安哉」
 大森住吉野出身の横顔をこ紹介
 します。
 武市安哉は一口にいうと、農民のために一生を捧げた人といえそうですが、その言動は、身長百七十五センチ、体重八十六キログラムに似ず、

まじめで「ぼくとつ」だったそうです。そこがまた人に好かれて、死後その価値が高まったことも容易に想像できます。
 私たちの身近かにこんな「立派な先人」がいたことは、あまり知られていないようです。よい先輩をもったことを誇りにして、毎日の生活の参考にしたいものです。

第二次移住者到着。(うち二十一人が学齡児童) 開墾、播種、小屋づくり、井戸掘りなど。五月、学校竣工―聖園学校のものとなる。(明治三十年、文部省より公認)
 恵まれた自然環境で学習にはげむ。十二月二日、函館行きの連絡船内で脳溢血にて急死、四十七歳。
 安哉が生命をかけた「村づくり」は中絶し、聖園は試練にあらうが、彼自身の存在価値はかえって高くなった。後継者は娘婿の土居勝郎。
 ○明治二十八年
 第三次入植。四百人を数えたが、この時も嶺北出身者が多かった。水稲をはじめて収穫する。

○弘化四年(一八四七年)

住吉野に生れる。家は代々農業で、同部落で私塾を開いていた医師、国沢文斎に漢字を学んだ。一家は父母に弟の四人で、三町余りの農地を有した。

十五歳の時、本家武市熊次を相続。農業を営みながら、明治維新という激動の時を経験したことが安哉のその後の進路を大きく変えたようです。

二十歳の頃すでに長男をもち、家長となっていたが、謠言に熱中し始めて、勉学のため上阪、上京までするようになる。

○明治五年―二十五歳

学制が施かれ、大徳寺本堂に大浦小学校が創立、教師となる。農民の相談をうけながら、農民の生活を少しでも高めるために、

物事を誠実に処理。

○明治七年

立志社設立される。

○明治九年

長岡郡を二分する大区の長となる。

○明治十二年

県議会開設、推されて議員となる。二十五年まで議員。(議長一回、副議長三回)

○明治十四年

自由党結成と同時に入党。

○明治十八年―三十八歳

キリスト教の洗礼を受ける。断酒するとともに、家族や周囲を伝道、受洗をすすめ、講演活動を続ける。

○明治二十年

地租軽減、言論、集会の自由などを国に要求したが、保安条例に

ふれ、軽禁固二年六カ月の刑で投獄される。(県内で二十一人)

○明治二十二年

大赦により出獄、郷里へ……。

推されて再び県議会議員に。

○明治二十三年

第一回国會議員選挙。前年から経済恐慌で社会情勢不安定。

○明治二十五年

総選挙に自由党から立候補。周囲の青年たちの活躍で多くの闘争、犠牲を経て当選、上京。人々の負担を軽くし、暮しより民主的な社会をつくるためにせいりいっばい働いたが、この頃議会に失望したも

よう。家族の協力で伝道活動を続ける。ばく然と農民の生活上のために北海道への移住を考えはじめる。十月、視察のため小樽へ。

クラーク博士の影響で、自由清新

な気風や広大な未開の石狩平野に魅せられて、キリスト教精神による理想的な新農村の建設を目標に、移住の決意を固める。現地検討の結果、移住先を浦臼と決定。

○明治二十六年

国會議員を辞職、大きな話題となる。第一次移住者二十七人(うち女二人、子供四人が含まれる)が入植。本山、土佐山の人が多い。悪環境のなかを必要に開墾、マラリヤなどに苦しむ。

この時の部落の約束とは、①どんなに忙しくても日曜日は仕事を休み、礼拝に出席すること。②酒の売買、飲酒を固く禁ずること。③六年後の村制実施まで、いわゆる「話し合い」によりすべてが処理された。

○明治二十七年

第二次移住者到着。(うち二十一人が学齡児童) 開墾、播種、小屋づくり、井戸掘りなど。五月、学校竣工―聖園学校のものとなる。(明治三十年、文部省より公認)
 恵まれた自然環境で学習にはげむ。十二月二日、函館行きの連絡船内で脳溢血にて急死、四十七歳。
 安哉が生命をかけた「村づくり」は中絶し、聖園は試練にあらうが、彼自身の存在価値はかえって高くなった。後継者は娘婿の土居勝郎。
 ○明治二十八年
 第三次入植。四百人を数えたが、この時も嶺北出身者が多かった。水稲をはじめて収穫する。

○明治二十九年
 百三十四戸が入植、開墾は北方へ伸びる。

○明治三十年
 新会堂が落成。上部の承認を経て、公式に聖園教会となる。坂本直寛が指導者に。
 坂本は、十七歳で坂本龍馬の兄の養子となり、のち立志社に入り、明治十八年受洗した。同二十年、保安条例にふれ入獄、同三十七年、伝道教師となった。
 (なお、このご紹介は、ある自由民権運動者の生涯―高知県文教協会刊のなかから掲載させていただきました。)

南国意外史(4) 市名きわめて安産

町村合併が盛んなころから終末の「南国市」発足にかけて、四十に近い町村の合併問題を取材したが(新聞記者であったから)、南国関係の旧町村首脳や合併推進委員は進行途上の裏のこままでよく話してくれました。しかし、同じことが時と場所が移るごとく変っていたりし

柔道振興にと道場を新築

二月十一日に道場開き

いつでも、気軽に柔道ができるようにと、後免町に住む中村昭弘さん(33歳)四段が私財を投じて、大篠保育所の南側に柔道場を新築、南国市柔道連盟へ無償で貸与しました。

二十一日にはたぐさんの関係者が集まり模範演技やチビッ子の招待試合などで盛大に「道場開き」が行われました。

道場は鉄骨造り約九十二平方メートル、四十五畳の立派なもの。

中村さんは、中学三年生の時から柔道を始めて以来そのとりこになり、七年前から趣味と柔道振興のために、旧南国警察署跡の道場で子どもたちを指導し続けている



市名を選ぶ旧町村首脳ら合併推進関係者が高知市内の会場で「ありふれたものでなく、言いやすい」ことなどを台詞にして候補市名を出しあった。その場で「南国」はそう重く見られていないようだったが、格別な議論もされず、あっけなく決った。もともとも南国という複合語は普通には「なんこく」となるから、新聞記事にする都合でそのことを確認すると、「なんこく/なんこく」と一声。

地区史「大篠」が完成

大篠地区待望の地区史「大篠」が昨年末完成、農協の組合員などに配付されました。

この「大篠」はB6判、四百ページを越す「集行本」で、その内容は村の生い立ち、地勢、気象、自治、教育、農業、風俗、文学、歴史、人物、伝説、歴史など百般を織り込んだ力作です。

「大篠」の生みの親は①上古時代からの村の歩みを記した、昭和五年刊行の「大篠村我等の郷土」で、関係者にそれ以後現在までの約半世紀を後世に残すことへの使命感を強くさせました。

②昭和四十六年の農協理事会で資金援助が約束されたことで、途中公民館の火事による資料焼失、執筆者の多忙や健康支障など中絶もあったがようやく五十四年末の発刊にこぎつけたもので、編集委員は元村長の岩村元治氏ら三十四名で、農協の組合員らに約七百五十冊が配付されています。

近年都市化が最もはげしい「大篠地区」だけに、今では二千六百戸の世帯があります。むらに住む人、むらをふるさととする人、あつてむら人となった多くの人々や南国市にとっても貴重な、価値あるものになります。

製作関係者のみなさん、ほんとうにごくろうさんでした。

なお、購読ご希望の方は、市農協大篠支所で、一冊五百円で購入できますのでおしらせします。

おたすねは☎4131まで。



併後の今は死語同様。(嶺)山または峰、山嶺とも使った。) ▲南国大平(なんこくたいへい) 故人となった作家・直木三十五の小説「南国大平記」目下NHKテレビ放映の(風の車)が当時毎日新聞に連載されていたため、その印象から考えついたものだろう。▲黒潮(くろしほ) 終戦のころまでよく使われた「黒潮寄せる南の國、土佐……」の形容に困ったものといえる。

ご家庭で話し合せて答えてください。答えはこの広報に出ています。

●もんだい。○月○日の臨時議会で、比江山の約一〇分の土地の売却が決まりました。

●しめきり。三月十五日(土)おくり先。〒783 南国市大地中2301 南国市役所内広報委員会 親子クイズ係

●答えのハガキには必ず、住所・氏名・年齢・職業を書いてください。

●賞品 特賞千円 三人 残念賞(記念品) 五人

第10回学校訪問

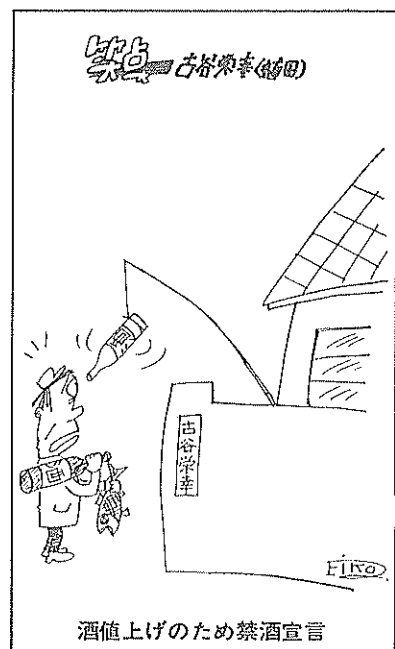
キャラバン隊

豊かでたくましい子供に——との願いをこめて毎年行われている市子供会連合会主催の「学校訪問キャラバン隊」も、今年で十回目。今年も二月二十一日、南部と北部コースに分かれ、二つのキャラバン隊が市内十三小学校を回り、人形劇や記念樹をプレゼントしました。

連合会の父母らで上演された今回の人形劇は「オサムとなまけ悪魔」で、勉強きらいのオサムが昔の時代に行き、勉強することの大切さやこれまでの幸わせな毎日の生活を改めて知る、というスジ。「おまたちのなかで一番のなまけ者は誰だ。今夜訪ねていくから

待っておれ」との悪魔の最後の言葉には、見ている子供たちもドッキリ。

また、隣の小学校の児童代表によるメッセージの発表など、各校の交流を深める楽しい一日となりました。



幼児画展に

三百人が参観

市内保育所の園児の作品を集めた「幼児画展」が、二月十六日から十八日までの三日間、後免町公民館で開かれました。

この幼児画展は、南国市保育



会などが主催で毎年開かれているもので、今年も市内の保育所、幼稚園八園の一歳から五歳までの作品約二百点が出品され、子供や孫の力作をひと目見ようと、おかあさんやおばあさんなど三日間で約三百人がおとずれ、園児のかわいらしい絵や紙細工を見て目を細めていました。

- 第10回正解者発表
- こたえ。○期目でした。
 - 特賞・千円 三人
 - 本川光子さん(岡豊町小連)
 - 平田耐代さん(大地)
 - 竹内 春さん(里改田)
 - 残念賞、記念品 五人
 - 豊永美里(外山)水田二男(久礼田) 藤森義雄(東崎) 岡崎光子(定林寺) 関田幸子(後免町)
 - 第10回正解者発表
 - こたえ。○百十人でした。
 - 特賞・千円 三人
 - 黒岩敬一郎さん(立田)
 - 北岡輝恵さん(大地)
 - 野村久乃さん(大地)
 - 残念賞、記念品 五人
 - 浜田律子(片山) 前田茂子(東崎) 和田清(物部) 伊藤勝(東崎) 杉内洋明(前野)



南国歌壇

断続乃雲の行方と身の幸越
今朝も追ひ居り書乃窓に
下野田 竹村虎治

温泉の風を料亭にひきまゐし
叔父に潤ひき六十十年前は
八幡岩村とよき

凍りける野面を渡り聞へくる
御寺の鐘の目覚よとこく
三畠小笠原綾子

南国柳壇

吹きすさぶ木枯風も素知らずや
満開美はなつ内縁の黄花
立田 清岡照子

ねむる間は女らぎならむ手も足も
揺られし徒姉を呼び醒まし得ず
笠ノ川 葛目治子

雪深く残れる野辺の其処かしこ
青きが見ゆる春立ち初めて
亀岩 島本 栄

南国俳壇

強いられる返事火鉢の灰を掻き
常通寺島 橋田井波

船来の風邪を大事にせよと言ひ
古市 長野福美

空を飛びオタマジャクシが
春の使者、後免町 隈田俊作

入院の大部屋賑は日暮るる
立田 北村幸江

寒館の目玉きよりと竹られる
本馬道天に登りて雪が降る
立春や髪を切りたき思いあり
土の香の匂ひうれしく春山打つ
土手焼けば小石転がり落ちるなり
ふと小窓開けそのまの春隣り
今日も在る空地秋風十重廿重
秋満開男子生れし便り受く
薬塚が立ついざなみ氏いざなぎ氏

- 瀧川由紀男(岩村旬会)
- 和田幸郎()
- 山岡みよ()
- 吉川 妙(梵鐘旬会)
- 吉川 節()
- 竹内紀子()
- 浜田民由(芽花の会)
- 門田けんぶ()
- 西村とし()



日	衛生行事	日	衛生行事
1(土)	不燃物の収集(田村)	15(土)	不燃物の収集(宇田、東崎東部、西部、中部、祈年)
2(日)	休日在宅医・谷医院(片山)⑤-8335	16(日)	休日在宅医・市原内科小児科(大埞)③-3915
3(月)	乳幼児相談・歯科相談・1:00~4:00 市役所3階保健室、医務室(後免、野田、大篠地区) 不燃物の収集(十市南部)	17(月)	不燃物の収集(野田)
4(火)	不燃物の収集(里改田、片山)	18(火)	不燃物の収集・後免(東町、横町、中町、中ノ丁、東芝住宅)
5(水)	健康相談・1:00~2:00 南部福祉館 家庭看護実習・1:00~2:30 稲吉公民館 健康相談・2:30~4:00 稲吉公民館 不燃物の収集(浜改田) 金属類の収集・野田、後免、長岡	19(水)	愛の献血・9:30~11:30 南国自動車工業 1:30~3:30 市農協日章支所 不燃物の収集・後免(西町、栄町) 金属類の収集・十市、三和、前浜、下島、久枝、立田、田村
6(木)	乳児相談・1:30~3:30 植野公民館 不燃物の収集(前浜、下島、久枝)	20(木)	休日在宅医・岡豊病院(岡豊町小蓮) 0888-⑥-2345 不燃物の集集(陣山、三島、上末松、下末松、西山、上甘枝、西島、古市)
7(金)	乳児検診・1:30~2:00 稲生地区公民館 (生後2カ月~1年3カ月) 機能訓練相談・1:00~4:00 市役所3階医務室 不燃物の収集(立田)	21(金)	健康相談・9:30~11:30 前浜中組公民館 不燃物の収集(1区~8区、南小籠、北小籠、祈年団地)
8(土)	不燃物の収集(篠原、明見)	22(土)	不燃物の収集(瓶岩、上倉)
9(日)	休日在宅医・秦泉寺内科(大埞)③-3928	23(日)	休日在宅医・山本内科(東崎)④-2575
10(月)	不用犬の買上げ・9:30~10:00 市立図書館前 不燃物の収集(物部)	24(月)	不燃物の収集(国府、岩村)
11(火)	乳児検診・1:30~2:00 三和地区公民館 (生後2カ月~1年) 健康相談・1:30~3:30 植田公民館 不燃物の収集(稲生)	25(火)	破傷風予防接種(2回目)・2:30~3:30 農協病院 不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)
12(水)	乳児検診・1:30~2:00 十市地区公民館 (生後2カ月~1年3カ月) 不燃物の収集(能間、野田口、城陸、榎田町、朝日町) 金属類の収集・国府、岩村、岡豊、久礼田、瓶岩、上倉	26(水)	破傷風予防接種(2回目)・2:30~3:30 農協病院 不燃物の収集(中島、常通寺島、江村、小籠、三軒家) 金属類の収集・物部、稲生、大篠
13(木)	健康相談・9:00~11:00 前浜里組公民館 麻しん(はしか)の予防接種・個人通知者のみ 不燃物の収集(稲吉、西窪、新川、鈴江)	27(木)	不燃物の収集(植田、久礼田)
14(金)	乳児検診・1:30~2:00 南部福祉館 (生後2カ月~1年2カ月) 麻しん(はしか)の予防接種・個人通知者のみ 不燃物の収集(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園)	28(金)	不燃物の収集(植野、領石)
		29(土)	不燃物の収集(十市北部)
		30(日)	休日在宅医・藤原病院(大埞)③-0001
		31(月)	

火事が多発しています。油断大敵、「火の用心」。

南国市役所…… ☎783南国市大埞甲2301 ☎3-2111(代)

領石支所 ☎2-0020 岡豊支所 ☎4-2423 三和支所 ☎5-8332 十市支所 ☎5-8401
水道局 ☎3-1234 市民体育館 ☎4-3498